

提言 西川町シルバー人材センターについて

1. 提言の背景

一般社団法人西川町シルバー人材センターは、平成7年に西川町高齢者事業団として設立し、平成12年からは西川町シルバー人材センターと名称を代え、平成25年から法人化し、定年退職後の就業確保を図るため町民や企業等からの各種業務を受託し、かつ高齢者の生きがいづくりの役割も果たしている。

法人化しての運営に当たっては、3年平均で100人の会員の確保が必要であり、会員数の増強と受託業務の拡大、開拓が課題になっている。

2. 提言内容

会員数の増強

「80歳現役」を標榜する町としても会員確保に向け、町民に対する趣旨説明と勧誘をもっと積極的に取り組む行政指導を行うこと。

受託業務の拡大と開拓

受託業務料5,000万円を目標にしているが、平成29年度受託実績は約4,052万円となっている。町では道路工手の補完として町道の草刈りを委託しているが、町事業の委託業務を増やし、積極的な行政支援をすべきである。

また、空き家(廃屋)見回り隊や空き家管理(草刈り)等をシルバー人材センターに委託したり、観光ガイドを養成するなど受託業務の範囲を広げる対応を考慮すること。

事務費加算の見直し

委託料に事務費が加算され、企業、個人は10%を負担しているが、町が8%になっているのは問題であり、10%の負担とすること。